



# 感謝の“青”枚方でも

## 平和の鐘ブルーライトアップ 本日夜、点灯

枚方市役所前にある平和の鐘「ヒラリヨン」が5月8日(金)夜、青色に染まる。

コロナと闘う医療従事者へ感謝と応援の気持ちを表す取り組みとして世界各地で行われている「ブルーライトアップ」の枚方版。医療現場の最前線で働く人々への感謝とお互いを思いやる気持ちを持ってほしいという思いを込め企画した。点灯は午後7時で、これに合わせて市役所本館と別館をつなぐ渡り廊下部分も点灯し、今後も週1回の点灯を予定している。また、この取り組みを市の公式SNSを使って市民にも呼びかけ、医療従事者への「感謝と応援の輪」を広げていく。



▲5月7日試験点灯の様子。手前が平和の鐘ヒラリヨン、奥が市役所本館と別館をつなぐ渡り廊下部分。

★新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市は対策本部を立ち上げ、これまでにさまざまな対策を行ってきた。そんな中、市は医療従事者への偏見や差別につながる風評被害に苦しむ事例があることを重く受け止め、感染者に関する情報について「人権への配慮をお願いします」と題した文章を広報ひらかたやホームページに掲載した。

- ★こうした思いをもっと違う形でも示すことができないかと考えていた市では、世界中で行われているブルーライトアップのアイデアを取り入れ、平和の鐘として親しまれている、市役所前のニッパーク岡東中央にある「ヒラリオン」を青色に照らすことに。同時に市役所の渡り廊下の壁もライトアップすることになった。ライトアップは5月8日（金）午後7時から2時間程度。今後もしばらくの間、毎週金曜に実施していくことを考えている。
- ★市の担当者は「医療現場の最前線では多くの医師や看護師、職員がコロナ感染と毎日闘ってくれています。今回の企画では、そのことへの感謝の気持ちはもちろん、誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況を受け止め、お互いを思いやる気持ちが持てるまちであるよう人権の大切さも発信していきたいと考えています」と話した。
- ★また、この取り組みを市の公式SNS（フェイスブックやインスタグラムなど）を使って市民らにも呼びかけていく取り組みも進める。ハッシュタグ（#lightitblue、#thankshealthheroes #枚方家族）をつけて自宅の部屋を青色に灯した様子や青色のものを投稿してもらうことで、「感謝と応援の輪」を市内外へも広げていく。
- ★市は1月31日に新型コロナウイルス感染症専用の電話相談窓口を開設。これまでに6000件近い相談を受けている。5月8日現在で582件のPCR検査を実施し、36人が陽性と判定されている。市保健所では府と連携しながら、行動歴の確認や濃厚接触者の特定など積極的疫学調査を行っている。
- ★また、北河内唯一の公立病院である市立ひらかた病院は、第2種感染症指定医療機関としての役割を担う。外来の患者に対し入り口前での検温など院内感染防止のための取り組みを行っている。



<お問い合わせ先> 人権政策室 ☎072-841-1259、ファクス 072-841-1700